

株主メモ

決算期	3月31日
基準日	毎年3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して 定めます。
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当金の支払いを行 うときは9月30日。
定時株主総会	6月
株式の名義書換 名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03) 3323-7111 代表
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞

当社は、決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書をホーム
ページに掲載しております。
http://www.takachiho.co.jp/05/05_6.html

ホームページのお知らせ



当社のホームページは、会社プロフイ
ール・リクルート情報・オンラインシ
ョップに加えIR情報（財務状況）等も
ありますので、ご覧ください。

<http://www.takachiho.co.jp/>

第59期

中間事業報告書

2004年4月1日から2004年9月30日まで

Heart of Electronics

財務ハイライト
株主の皆様へ

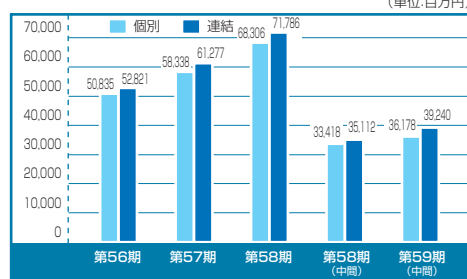
What's 高千穂電気「センサー部品」

財務諸表ほか

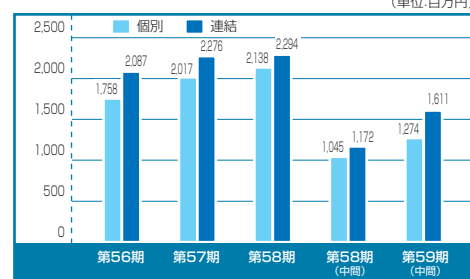
■ 主要な経営指標等の推移

科目	期別	第56期 (2001年度)	第57期 (2002年度)	第58期 (2003年度)	第58期 (中間)	第59期 (中間)
連結						
売上高 (百万円)		52,821	61,277	71,786	35,112	39,240
営業利益 (百万円)		1,759	2,214	2,395	1,177	1,403
経常利益 (百万円)		2,087	2,276	2,294	1,172	1,611
中間(当期)純利益 (百万円)		1,186	1,300	1,416	710	1,022
純資産額 (百万円)		12,164	13,886	14,755	14,371	17,711
総資産額 (百万円)		26,248	29,762	33,320	32,458	36,893
個別						
売上高 (百万円)		50,835	58,338	68,306	33,418	36,178
営業利益 (百万円)		1,538	1,845	2,070	990	1,125
経常利益 (百万円)		1,758	2,017	2,138	1,045	1,274
中間(当期)純利益 (百万円)		921	1,060	1,296	614	748
純資産額 (百万円)		9,842	11,501	12,558	12,026	15,103
総資産額 (百万円)		23,614	27,040	30,508	29,616	33,104

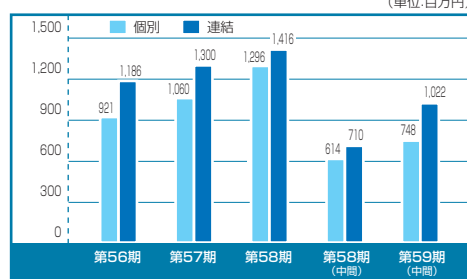
■ 売上高



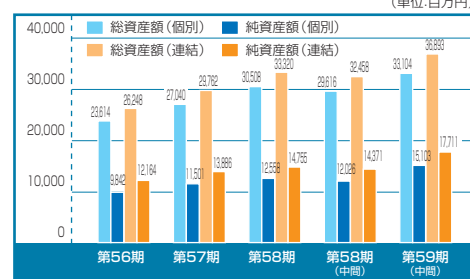
■ 経常利益



■ 中間(当期)純利益



■ 総資産額・純資産額



代表取締役社長

櫻井 恵

Sakurai Satoshi

海外・国内の営業ネットワークをフルに活用し顧客ニーズの把握に努め、持続的な成長を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

この度の平成16年(2004年)新潟県中越地震により被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、ここに2004年度中間連結会計期間(2004年4月1日から2004年9月30日まで)の中間事業報告書をお届けするにあたりまして、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間の連結売上高は、前中間連結会計期間に引き続きまして過去最高を更新し、392億円となりました。国内では主にフレキシブルプリント回路基板やその実装用電気部品の販売が、中国では主に絶縁材料の販売が増加いたしました。また利益面も増収により前年同期比増益を達成いたしました。

通期の見通しにつきましては、米国や中国の景気減速を受けて電子部品等の在庫調整が続くとの懸念もありますが、幅広いエレクトロニクス・メーカーと取引のあります当社グループといたしましては、お客様1社ごとのニーズの掘り起こしを通しましてより一層の拡販を行い、年間でも前期比増収、増益をめざしたいと存じます。

従いまして今中間配当につきましては足許の状況を勘案し、従来ご案内させていただいておりました1株につき10円を15円といたしまして中間配当を行うことといたしました。

8月の公募増資により株主数は9月末で5,252名となっております。当社グループといたしましては、今後とも株主の皆様と成果を喜び合える企業であり続けるよう、またお客様からは信頼しうる存在感のある商社として成長を分かち合えるよう努力してまいりますので、以前にも増して変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2004年12月

Contents

- 00 財務ハイライト
- 01 株主の皆様へ
- 02 What's 高千穂電気
- 04 営業の概況
- 06 連結貸借対照表
連結キャッシュ・フロー計算書
- 07 連結損益計算書
連結剰余金計算書
- 08 個別貸借対照表
個別損益計算書
- 09 株式の状況
会社の概要
役員
事業所一覧

Heart of Electronics

当社グループは、家電製品やOA機器等には不可欠な絶縁材料や温度コントロール等に利用されるセンサー部品をはじめとして多種多様な電気材料、電子部品、オプティカル部品・材料などを取り扱っております。

これらの部品や材料の取り扱いを基礎として当社グループは、エレクトロニクス業界の発展とともに活動しております。

..... Close-up

「センサー部品」

今回は当社グループが取り扱いをしております「センサー部品」のうち、電子回路の温度過昇防止に用いられる電子部品「サーモスタット」についてご説明します。

なお、当社の連結ベースでの「センサー部品」の売上高は、2003年度（前連結会計年度）は約56億円、2004年度中間期（当中間連結会計期間）は約30億円となっております。



*1 サーモスタット

サーモスタットとは感熱（感温）スイッチの総称で、温度コントロール、温度過昇防止用としてさまざまな用途に使用されております。

サーモスタットはその使用目的により、バイメタル式、導管式、電子式等が挙げられます。その中でもバイメタル式サーモスタットは小型で安価、さらに取り扱いやすいことから電熱器具をはじめ電気製品、自動車、OA機器等、最近では温度ヒューズに代わり使用されるケースも増えてきました。

*2 バイメタル式サーモスタット

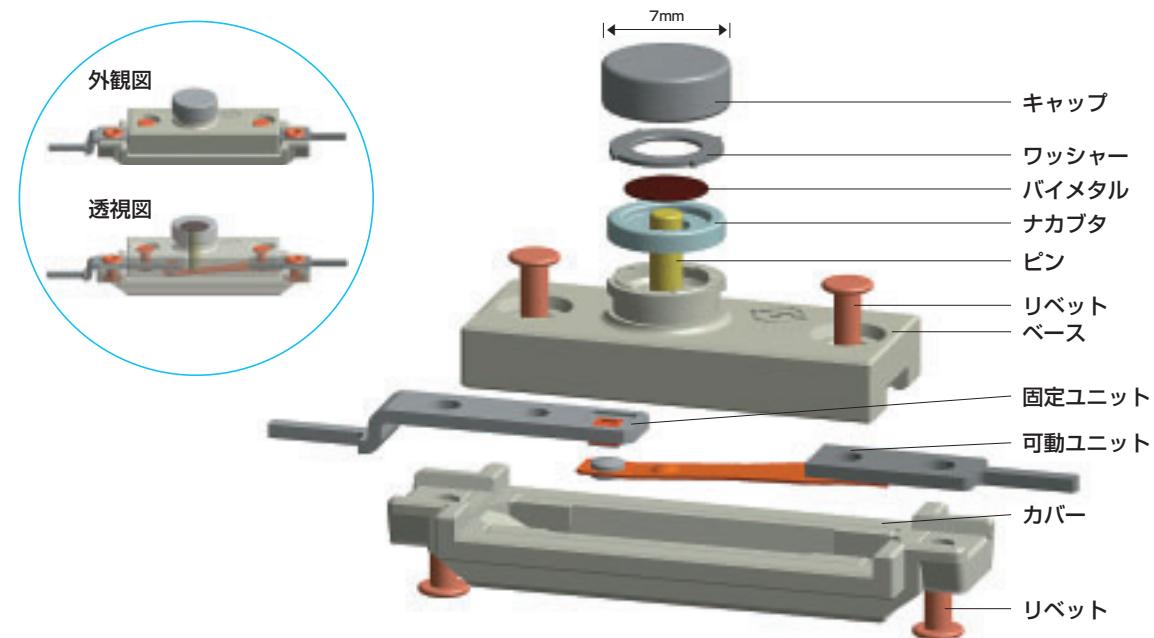
バイメタル式はさらに、徐動式とディスク反転式（速動式）に分類されます。このうちディスク反転式では、バイメタルは2種類（バイ）の熱膨張係数が異なる金属板（メタル）を貼り合わせ圧延し、ディスク状に加工しています。これにより温度の変化を金属板の変位という機械的な運動に変換させることが可能になります。バイメタルを円板状に打ち抜き皿状に成形したもの（ディスク）を加熱してくると、ある温度で瞬間的に反発動作を行い、冷却すると先程とは異なった温度で反発（復帰）し、元の位置に戻ってきます。

ディスク反転式サーモスタットはこの反発動作を利用し、接点開閉の速動化と開閉時の電気ノイズ低減を実現しています。

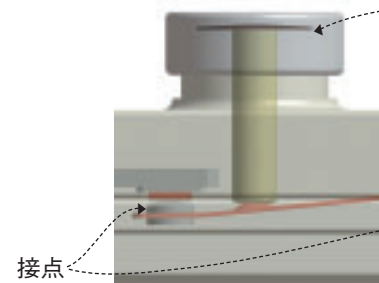


ワコー電子機製小型高温用サーモスタット（バイメタル・ディスク反転式）

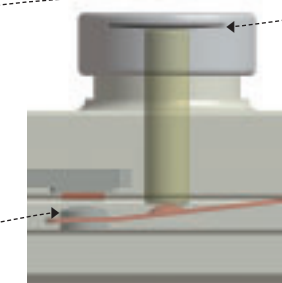
熱応答性に優れており、小型で耐熱性（250℃～260℃）もあることから主にOA機器に組み込まれています。熱応答性に優れていることから、組み込まれる機器の機械部品等に低耐熱素材の使用を可能とし、お客様のコストダウンにも寄与しています。



スイッチオン（通電）



スイッチオフ



バイメタル・ディスクは熱に反応し、反発（復帰）動作を行うことで接点バネを上下させ、接点スイッチをオン・オフにします。

接点

営業の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は、期前半は主に国内の企業業績の改善や設備投資の増加を受けて回復基調をたどりましたが、期後半は原油価格の高騰や金利の上昇を背景とした米国・中国の景気拡大の鈍化、国内の電子部品等の在庫調整から、景気回復の先行きに懸念が広がりました。

エレクトロニクス業界におきましては、アテネオリンピック開催の影響によりPDP・液晶等のフラットテレビおよびDVD等のデジタル家電の販売が好調で、それにより期前半は電子デバイスや半導体生産も好調でした。一方、白物家電や重電は需要低迷からの底離れの兆しが出てきましたが、パソコン、携帯電話、コンピュータおよび通信は需要が低調に推移しました。

このような状況のなか当社グループは、デジタル機器関連の「電気材料」や「電子部品」を中心とした拡販に努めました。この結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比11.8%増の392億40百万円となり、中間期としては前中間連結会計期間に引き続いて過去最高となりました。

利益面につきましては前中間連結会計期間に比べ、拡販に伴い人件費、荷造運賃等の販売費及び一般管理費が増加しましたが、対売上高比では圧縮を図ったことで、営業利益は前年同期比19.3%増の14億3百万円となりました。

経常利益は前中間連結会計期間に比べ、新株発行費の発生があったものの、持分法投資損益が好転したこと、期中の為替管理を強化し為替差益を確保したことで、前年同期比37.4%増の16億11百万円となりました。

税金等調整前中間純利益は、前年同期比33.6%増の16億11百万円となりました。

中間純利益は、外形標準課税の導入等により前中間連結会計期間と比べ実効税率が低下したため、前年同期比44.0%増の10億22百万円となりました。

商品の品目別の概況は以下のとおりであります。

■ 電気材料

主に小型液晶向けフレキシブル基板の配線材料の販売が伸びました。その結果、売上高は前年同期比23.1%増の162億47百万円となりました。

■ 用途例

- 基板 ● シリコン ● ACF (異方性導電フィルム) ● 放熱ゴム
- 絶縁工業テープ ● 高機能接着剤 等

■ 通期の見通し

国内の景気は、原油高や中国での投資引き締めが世界経済に与える影響から先行きが懸念されていますが、国内の企業収益の改善傾向を受けて、緩やかながら回復を続けるものと考えております。

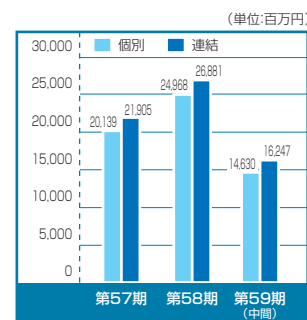
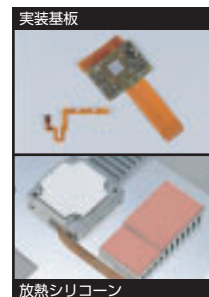
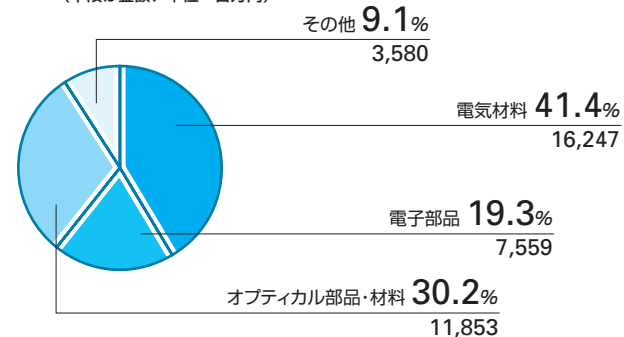
国内のエレクトロニクス業界は、デジタル機器やその関連部材の在庫調整の懸念がある一方、中国でのエレクトロニクス関連部材の需要は今後も旺盛であると思われます。

このような状況のなかで当社グループは、比較的業績が堅調なOA機器や自動車関連業界への開発営業を強化するとともに、中国等に展開しております海外現地法人の販売・加工子会社等とのより一層の営業体制の連携強化を通して、引き続き拡販に努める所存であります。

以上により、2004年度の通期の連結業績に関しましては、売上高を790億円と見込み、従来の見通しに比して13億円増収となると予想しております。利益面につきましても増収を受けまして、従来の見通しを上回る経常利益29億円、当期純利益19億円を見込んでおります。

■ 商品品目別売上高構成比

(下段は金額、単位：百万円)

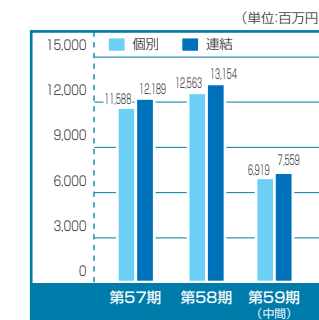


■ 電子部品

基板実装用部品等の電気部品の販売は堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同期比18.9%増の75億59百万円となりました。

■ 用途例

- コネクタ ● ファン付ヒートシンク ● サーモスタット
- 温度ヒューズ ● センサー ● ハーネス 等

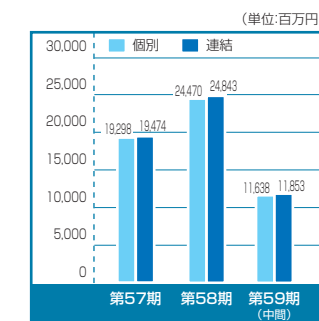


■ オプティカル部品・材料

プロジェクトやカメラ付携帯電話向けの光学部品・材料の販売は低調に推移いたしました。液晶関連のディスプレイ部品・材料の販売は、前年同様高水準に推移いたしました。その結果、売上高は前年同期比1.1%減の118億53百万円となりました。

■ 用途例

- 液晶用光学フィルム ● 液晶用バックライト、フロントライト
- ロッドレンズ ● ペルチェ (電子冷却素子) ● 光データリンク
- タッチパネル 等

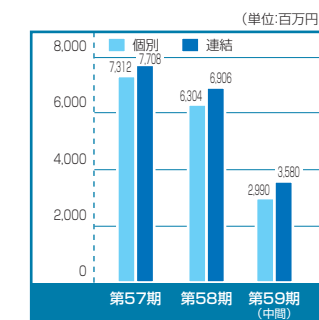


■ その他

ゲーム機向けの機構部品は低調でしたが、成形品や検査装置等は順調に販売を伸ばしました。その結果、売上高は前年同期比0.4%増の35億80百万円となりました。

■ 用途例

- 強化プラスチック (FRP) 成形品 ● ケーブルアクセサリ
- フィルター ● セラミック ● 研磨剤 ● はんだゴテ (コテペン) 等



■ 連結貸借対照表 (要旨) : Consolidated balance sheets (Summary)

(百万円/¥ millions)

科目	期別	当中間連結会計期間末 (2004.9.30)	前中間連結会計期間末 (2003.9.30)	前連結会計年度 (2004.3.31)
(資産の部)	(Assets)			
流動資産	Current assets	30,591	26,370	26,997
固定資産	Fixed assets	6,301	6,087	6,323
有形固定資産	Tangible fixed assets	3,027	2,855	3,049
無形固定資産	Intangible fixed assets	132	88	116
投資その他の資産	Investments and other assets	3,142	3,144	3,157
資産合計	Total assets	36,893	32,458	33,320
(負債の部)	(Liabilities)			
流動負債	Current liabilities	18,927	17,959	18,339
固定負債	Fixed liabilities	234	119	212
負債合計	Total liabilities	19,161	18,078	18,551
(少数株主持分)	(Minority interest)			
少数株主持分	Minority interest	19	7	14
(資本の部)	(Shareholders' equity)			
資本金	Common stock	1,974	890	890
資本剰余金	Capital surplus	1,850	768	768
利益剰余金	Earned surplus	14,216	12,955	13,539
その他有価証券評価差額金	Net unrealized gain on securities, net of tax effect	66	153	76
為替換算調整勘定	Translation adjustments	△ 312	△ 289	△ 421
自己株式	Treasury stock	△ 84	△ 106	△ 97
資本合計	Total shareholders' equity	17,711	14,371	14,755
負債、少数株主持分及び資本合計	Total liabilities, minority interest and shareholders' equity	36,893	32,458	33,320

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Note: Amounts of less than one million yen have been rounded down.

Point 1

売上総利益率が改善され販管費率を前中間連結会計期間と同率に抑制したことにより営業利益率が向上し、営業利益は19.3%の伸びとなりました。

Point 2

為替管理を強化したため、為替差益を確保することができ、経常利益率が大幅に向上し経常利益は37.4%と大きく伸びました。

Point 3

今年8月に行った増資により株主資本が充実し、株主資本比率は48.0%に向上しました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) : Consolidated statements of cash flow (Summary)

(百万円/¥ millions)

科目	期別	当中間連結会計期間 (2004.4.1~2004.9.30)	前中間連結会計期間 (2003.4.1~2003.9.30)	前連結会計年度 (2003.4.1~2004.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	Cash flows from operating activities	583	△ 408	532
投資活動によるキャッシュ・フロー	Cash flows from investing activities	7	159	△ 146
財務活動によるキャッシュ・フロー	Cash flows from financing activities	1,377	△ 171	171
現金及び現金同等物に係る換算差額	Effect of exchange rate changes on cash and cash equivalents	32	△ 29	△ 65
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	Net change in cash and cash equivalents	2,001	△ 448	492
現金及び現金同等物の期首残高	Cash and cash equivalents at beginning of the term	1,203	711	711
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	Cash and cash equivalents at end of the term	3,205	262	1,203

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Note: Amounts of less than one million yen have been rounded down.

■ 連結損益計算書 (要旨) : Consolidated statements of incomes (Summary)

(百万円/¥ millions)

科目	期別	当中間連結会計期間 (2004.4.1~2004.9.30)	前中間連結会計期間 (2003.4.1~2003.9.30)	前連結会計年度 (2003.4.1~2004.3.31)
売上高	Net sales	39,240	35,112	71,786
売上原価	Cost of sales	35,207	31,572	64,599
売上総利益	Gross profit	4,032	3,540	7,187
販売費及び一般管理費	Selling, general and administrative expenses	2,628	2,363	4,791
営業利益	Operating income	1,403	1,177	2,395
営業外収益	Non operating income	263	112	268
受取利息	Interest income	60	50	98
受取配当金	Dividend income	2	4	7
その他	Other non operating income	199	58	162
営業外費用	Non operating expenses	55	116	369
支払利息	Interest expenses	2	8	19
その他	Other non operating expenses	52	107	349
経常利益	Ordinary profit	1,611	1,172	2,294
特別利益	Extraordinary gain	—	65	190
特別損失	Extraordinary loss	—	32	37
税金等調整前中間(当期)純利益	Net income before taxes	1,611	1,206	2,448
法人税、住民税及び事業税	Corporate, inhabitant and enterprise taxes-current	668	544	983
法人税等調整額	Deferred taxes	△ 86	△ 55	34
少数株主利益	Minority interest in net income	5	6	12
中間(当期)純利益	Net income	1,022	710	1,416

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Note: Amounts of less than one million yen have been rounded down.

■ 連結剰余金計算書 (要旨) : Consolidated statements of retained earnings (Summary)

(百万円/¥ millions)

科目	期別	当中間連結会計期間 (2004.4.1~2004.9.30)	前中間連結会計期間 (2003.4.1~2003.9.30)	前連結会計年度 (2003.4.1~2004.3.31)
(資本剰余金の部)	(Capital surplus)			
資本剰余金期首残高	Beginning balance of capital surplus	768	768	768
資本剰余金増加高	Increase in capital surplus	1,082	—	—
増資による新株の発行	Increase in additional paid-in capital	1,082	—	—
資本剰余金中間期末(期末)残高	Ending balance of capital surplus	1,850	768	768
(利益剰余金の部)	(Earned surplus)			
利益剰余金期首残高	Beginning balance of earned surplus	13,539	12,497	12,497
利益剰余金増加高	Increase in earned surplus	1,022	710	1,416
中間(当期)純利益	Net income	1,022	710	1,416
利益剰余金減少高	Decrease in earned surplus	345	252	375
配当金	Cash dividends paid	283	210	332
取締役賞与金	Bonuses to directors	60	40	40
自己株式処分差損	Loss on disposal of treasury stock	1	2	3
利益剰余金中間期末(期末)残高	Ending balance of earned surplus	14,216	12,955	13,539

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Note: Amounts of less than one million yen have been rounded down.

個別貸借対照表 (要旨) : Non-consolidated balance sheets (Summary)

(百万円/¥ millions)

科目	期別	当中間会計期間末 (2004.9.30)	前中間会計期間末 (2003.9.30)	前事業年度 (2004.3.31)
(資産の部)	(Assets)			
流動資産	Current assets	27,945	24,617	25,414
固定資産	Fixed assets	5,159	4,999	5,094
有形固定資産	Tangible fixed assets	2,736	2,763	2,760
無形固定資産	Intangible fixed assets	119	78	105
投資その他の資産	Investments and other assets	2,304	2,157	2,229
資産合計	Total assets	33,104	29,616	30,508
(負債の部)	(Liabilities)			
流動負債	Current liabilities	17,815	17,485	17,764
固定負債	Fixed liabilities	184	105	185
負債合計	Total liabilities	18,000	17,590	17,950
(資本の部)	(Shareholders' equity)			
資本金	Common stock	1,974	890	890
資本剰余金	Capital surplus	1,850	768	768
利益剰余金	Earned surplus	11,281	10,319	10,879
(うち中間(当期)未処分利益)	(Unappropriated retained earnings)	(911)	(749)	(1,308)
その他有価証券評価差額金	Net unrealized gain on securities, net of tax effect	80	153	118
自己株式	Treasury stock	△ 84	△ 106	△ 97
資本合計	Total shareholders' equity	15,103	12,026	12,558
負債・資本合計	Total liabilities and shareholders' equity	33,104	29,616	30,508

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
Note: Amounts of less than one million yen have been rounded down.

個別損益計算書 (要旨) : Non-consolidated statements of incomes (Summary)

(百万円/¥ millions)

科目	期別	当中間会計期間 (2004.4.1~2004.9.30)	前中間会計期間 (2003.4.1~2003.9.30)	前事業年度 (2003.4.1~2004.3.31)
売上高	Net sales	36,178	33,418	68,306
営業費用	Operating expenses	35,053	32,427	66,236
営業利益	Operating income	1,125	990	2,070
営業外収益	Non operating income	178	154	258
営業外費用	Non operating expenses	29	99	190
経常利益	Ordinary profit	1,274	1,045	2,138
特別利益	Extraordinary gain	—	61	172
特別損失	Extraordinary loss	—	17	16
税引前中間(当期)純利益	Net income before taxes	1,274	1,089	2,294
法人税、住民税及び事業税	Corporate, inhabitant and enterprise taxes-current	608	495	943
法人税等調整額	Deferred taxes	△ 83	△ 20	54
中間(当期)純利益	Net income	748	614	1,296
前期繰越利益	Retained earnings brought forward from previous period	164	137	137
自己株式処分差損	Loss on disposal of treasury stock	1	2	3
中間配当額	Interim dividend	—	—	121
中間(当期)未処分利益	Unappropriated retained earnings	911	749	1,308

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
Note: Amounts of less than one million yen have been rounded down.

株式の状況 (2004年9月30日現在)

- 会社が発行する株式の総数 29,500,000株
- 発行済株式の総数 9,180,000株
- 株主総数 5,252名
- 議決権総数 91,211個
- 大株主

株主名	持株数	議決権比率
高千穂電気社員持株会	1,086,196 (株)	11.91 (%)
櫻井 恵	1,017,904	11.16
有限会社比翼商事	636,296	6.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	301,800	3.31
有限会社エスプランニング	270,000	2.96
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	248,600	2.73
クレディットバンク エスイールセンプルジョーズシリウスファンド ジャパン カブチユティス サブファンド	238,700	2.62
三菱信託銀行株式会社(信託口)	189,000	2.07
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	188,600	2.07
バンク オブ コミュニティ カンジー リミテッド	180,200	1.96
アトランティス ジャパン グロース ファンド		

株主アンケートのお知らせ

当社では、株主、投資家の皆様とコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ですが、別添のアンケートにお答えいただき、ご投函ください。ご協力をお願いいたします。(切手を貼らずにご投函ください。)

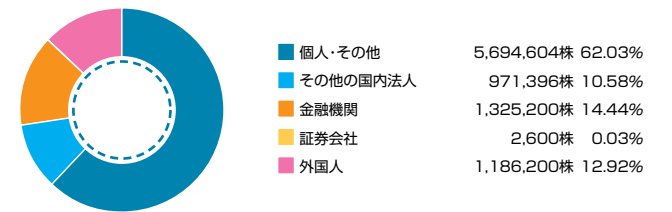
会社の概要 (2004年9月30日現在)

商 号 高千穂電気株式会社
Takachiho Electric Co.,Ltd.
本 社 東京都港区芝二丁目7番15号
http://www.takachiho.co.jp/
設 立 昭和22年4月
資 本 金 197,483万円
社 員 数 256名 (男152名、女104名)

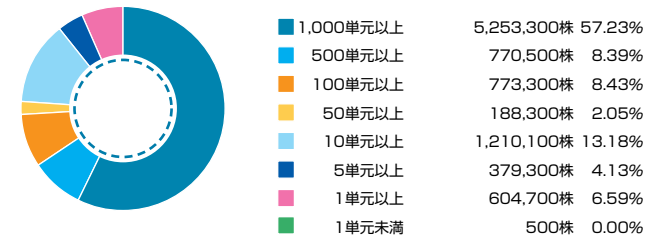
事業所一覧(国内・海外) (2004年9月30日現在)

- 国内(支店) 大阪支店 吹田市垂水町3-22-28
名古屋支店 名古屋南区千電通5-19-1
三島支店 三島市寿町7-22
八王子支店 八王子市大和田町2-14-6
関東支店 熊谷市銀座1-123
仙台支店 仙台市若林区大和町2-14-23
那須支店 栃木県那須郡西那須野町東三島3-55-2
長野支店 上田市大字住吉377-4
長岡支店 長岡市新産3-5-1
小山支店 小山市城東4-12-7
- 国内(支店) 加古川支店 加古川市米田町船頭478-11
山梨支店 山梨県東八代郡石和町広瀬1515-14
横浜支店 横浜市港北区新羽町168
福岡支店 大野城市御笠川12-11-3
千葉支店 松戸市大金平2-113
郡山支店 郡山市鶴見垣3-1-18
埼玉支店 川崎市仙波町2-8-18
- 国内(営業所) 四国営業所・鳥取営業所
- ※ ● 海外営業拠点 シンガポール・マニラ・バンコク・香港・深圳・上海・蘇州・杭州・天津・大連・台北・ソウル
- 海外加工拠点 大連・蘇州(2拠点)・深圳

所有者別分布状況



所有数別分布状況



役員 (2004年9月30日現在)

代表取締役社長 櫻井 恵 常勤監査役 関 昭司
代表取締役副社長 権藤 慎司 監査役 築尾 晃治
取締役 八木 賢 監査役 水上 洋
取締役 深谷 高之
取締役 磯上 篤生